

## 市の加曽利貝塚特別史跡化に向けた取組み

文化財課

### 1 概要

千葉市では、郷土の歴史遺産を市の都市アイデンティティとして確立することを目指している。とくに史跡加曽利貝塚をはじめとした縄文時代の大型貝塚群は世界に誇るべき文化遺産であり、市の大きな魅力である。

しかし、近年、縄文時代の調査研究が進展するなか、史跡加曽利貝塚について新たな価値を生み出すことができず、魅力の低下を招いている。そこで、特別史跡の指定を目指すことにより、市の都市アイデンティティの中核にふさわしい新しい価値と魅力の創出を図りたい。

### 2 史跡加曽利貝塚出土資料の再整理と総括報告書の刊行（平成 24～28 年度）

特別史跡は「史跡のうち学術上の価値が特に高く、わが国文化の象徴たるもの」とされており、まず、日本の文化の象徴たる価値を証明する必要がある。

そこで、過去の出土資料を現在の調査研究の水準に基づいて見直し、学術的価値を証明する。合わせて文化財保護や史跡の整備・活用の歴史上の意義、縄文時代や貝塚の研究史上の意義等についてもまとめ、史跡加曽利貝塚について多角的な視点から評価を行う。

### 3 史跡保存活用計画の策定（平成 27・28 年度）

価値の証明とともに、市が今後、史跡加曽利貝塚をどのように保護し、活用していくか、市の将来の方針と覚悟を示すため、史跡の保存活用計画を策定する。

### 4 特別史跡申請に向けた機運の醸成（平成 26～29 年度）

(1) 加曽利貝塚博物館の展示更新 平成 27 年 4 月～

(2) 縄文フェスタ 平成 27 年 2 月開催（今年度は平成 28 年 2 月開催予定）

千葉市生涯学習センターを拠点に約 1 か月間、縄文時代や貝塚をテーマにした講座・講演会、ロビー展示等を開催する。

(3) 学校教育との連携 平成 27 年度～

小学校・中学校の授業での加曽利貝塚の調査成果の活用に向け、教育委員会指導課および社会科教員と連携し、教材作成等を進める。

(4) PR 大使「かそりーぬ」を活用した特別史跡化推進 PR 平成 26 年 7 月～

### 5 総括報告書の成果の公開・活用（平成 28・29 年度）

(1) シンポジウムの開催 平成 29 年度前半予定

(2) 一般向けパンフレットや学校向け副読本等の刊行 平成 28・29 年度

(3) 博物館展示への反映 平成 29 年度

# 加曽利貝塚の特別史跡申請に向けたスケジュール(案)

区 分	作業内容	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考	
出土資料の再整理 総括報告書の刊行	出土資料の再整理	→				H28末までに総括報告書の刊行	
	報告書の編集・刊行	→			●		
史跡保存活用計画 の策定	各種調査及び検討		→			H28末までに史跡保存活用計画の策定	
	計画の策定			→	●		
特別史跡指定に向けた 機運の醸成	加曽利貝塚博物館展示更新 (継続的な展示更新)	→	●	- - - - -		→	
	縄文フェスタの開催	●	●	●	●		
	学校教育との連携		→				
	PR大使「かそりーぬ」を活用 した特別史跡化推進PR	→					
総括報告書の成果 の公開・活用	シンポジウムの開催			→	●		
	一般向けパンフレットや学校向け 副読本等の刊行			→			
	博物館展示への反映			→			
文化庁 調整・協議	申請に向けた調整・協議	- - - - -			→	申 請	平成29年度での特別史跡申請
	総括報告書 指導・助言		→				
	史跡保存管理計画 指導・助言		→				